

支援事例

商工会名	宇土市 商工会	氏名	大仁田俊之	情報開示の可否	可
支援テーマ	農商工連携・6次産業	題名	新規事業に伴う販路開拓支援事業		
	販路拡大・販路支援				

<支援企業の概要>

事業所名	ナカファーム	従業員	0 人	創業/ 会社設立	創業日	2022年6月1日
業種	製造小売業	うち家族従業員	人		業歴	2年9ヶ月

○企業概要

1992年から不動産業賃貸業を開業し、2018年6月息子に事業承継を行い、2021年11月から熊本県宇土市の自身が保有する土地にてビニールハウスを建設しアクアポニックスにより水耕栽培による高麗人参の栽培を開始。現在、高麗人参のカプセルや錠剤、チップスなど数種類の商品を製造販売している。

○支援のきっかけ（相談内容）・支援前の課題

（現状分析）

- ・強み⇒商工会会長や団体の長により人脈が多く、全国的なネットワークも多い。
- ・弱み⇒高麗人参栽培が気候等の問題で安定的に栽培できない時期がある。
- ・機会⇒SDGSの認知度向上している点と健康食品ブームである。
- ・売れ筋商品・顧客ニーズの把握⇒

ECやテレビショッピングで健康食品のニーズが高く、消費者動向調査において、特に高齢者層での健康志向の水準が非常に高い。

- ・競合する店舗等

九州県内でも水耕栽培での高麗人参栽培は珍しく、無農薬で地球にやさしい循環型栽培により他社との差別化を図っている。

【支援課題・支援計画】

（支援課題）新商品開発・販路開拓・展示会出展

（短期計画）既存商品のターゲットの明確化、販路先の方向性

（中長期計画）ECや展示会等による販路拡大

○支援内容および支援後の状況・効果

事業計画策定支援

商品化するに伴い事業計画作成による「持続化補助金」の申請支援を行い、パンフレット制作、ECサイトの構築などを行い、販路開拓に伴う重要なツールとなっている。

専門家派遣支援

商品が特殊であり、ターゲットと販路先を明確化する必要があり、事業者とのヒアリングの際専門家派遣の必要性を感じ、専門家派遣を通算3回実施した。専門家派遣により販路の方向性だけでなく、食品表示の問題やパッケージ表記の課題、事業PRやブランディングの為にSNS活用など様々な助言を頂き、事業者と共にひとつずつ支援し課題解決等おこなっている。

HP作成支援

自社にHPがなく、県連が推進するHP制作サービス「グーベ」を紹介しHP制作支援を行った。事業者の妻が積極的にグーベの制作方法を学び、難しい点は専門家による指導を受けるなど、ECサイトとの連動をおこない、自社の重要な栽培方法等説明をおこなっている。

展示会出展支援

商工会の伴走型による「FOODSTYLE Kansai2023」に出展した。事前準備としては商談会出展に係る商品陳列レイアウト並びにFCPシート作成等を支援した。当日は展示ブースのレイアウトや試食方法を提案して店舗と商品のPRを支援した。2024年度は「FOODSTYLE Kansai2024」に出展する予定。

【進捗・効果】

現在HPでのネット販売や宇土市のふるさと納税の商品になるなど販路先は広がっている。また、徐々に高麗人参を使用した新商品も増やしており、更なる販路開拓に努めている。

○今後について（目標や課題など）

徐々に販路先は増えているが、目に見えた売上が上がっていないが、営業努力を続け継続した販路開拓を図っていく。